

ニューフェイス紹介

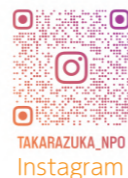


10月からアルバイトとして働くことになりました水野愛唯です。3歳の頃から父の影響で柔道をはじめ、高校生の頃は主将を務めました。

現在は大学で社会学・地域学を、また個人的に各地域のボランティアに参加することでまちづくりや地域活性化について学んでいます。初めてのことばかりですが、頑張ります。

フォローしてね!

SNSで情報発信中!



TAKARAZUKA_NPO
Instagram



X (Twitter)



FBページ

新たに入会された皆さん

【個人正会員】

- 日浦 理沙
- 田村 律子
- 山口 美樹子
- 橋本 幸子
- 田中 明延
- 山中 知子
- 三坂 友章
- 青木 幸治
- 佐原 三枝子
- 上田 健

【賛助会員】

- 馬場 夕紀子
- 岡本 光一
- カブラ 智代
- 浅見 恵子
- 山下 二郎
- 森川 昌一郎
- 橋本 淳子
- 木本 秀巳
- 多田 有紀
- 匿名希望 5名

【団体正会員】

- 社会福祉法人 晋栄福祉会 中山ちどり
- 食を考える会 食文化研究所

【法人正会員】

- 株式会社ベストバイ
- 社会福祉法人 希望の家
- 医療法人尚和会 宝塚第一病院
- 奥本電気株式会社
- 株式会社ナビック

寄付をくださった皆さん

- 濱本 佳子
- 小副川 久代
- 三戸 俊徳
- 竹内 志津香
- 前田 裕保
- 橋田 てつ子
- 小泉 登志代
- 石橋 さなえ
- 岸本 瞳
- 山口 一史
- 逢坂 洋子
- 中山 光子
- 二瓶 浩昌
- NPO法人 水道施設整備技術協議会
- 特定非営利活動法人 メイカーズクラブ
- 宝塚市西山まちづくり協議会
- 宝塚市まちづくり協議会 コミュニティ末広
- 匿名希望 1名

(順不同・敬称略)



会員継続・寄付のお願い

<http://hnpo.net/support/>
※認定 NPO 法人への寄付は
税制面で優遇されます。



VISION

一人ひとりがいたい姿で
社会参加のステージに
立てる未来

MISSION

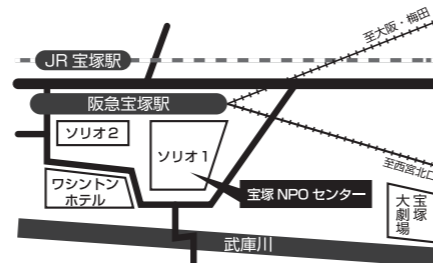
人と社会をつなぎ
それぞれのHAPPYを
応援する

VALUE

一人ひとりのスモールステップに寄り添う
LIFEとWORKの両面から見えた社会課題に向き合う
社会参加の新しい形を提案する

(認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1 ソリオ1-3F
TEL : 0797-85-7766 FAX : 0797-85-7799
E-mail : zukanpo@hnpo.net URL : <https://hnpo.net/>
発行人 中山光子



宝塚 NPO センター ニュース

TAKARAZUKA NPO CENTER NEWS

市民の手で市民活動を支える

112

このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2023.12

仕事がないなら「創る」





お掃除のご依頼を 1回1時間から

宝塚NPOセンターがお掃除代行事業をはじめました。皆様のお掃除のご依頼が、就労サポートをしている方の「働く場・働く機会」として活用され、「誰もが心地よく過ごせるまちづくり」におつなぎします。



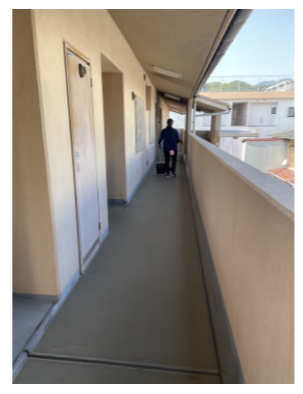
宝塚NPOセンターの 清掃事業の今が熱い!!

宝塚NPOセンターの自主事業として、2022年3月にマンション1棟・スタッフ1人から清掃事業がスタート。2023年度に入り、清掃やビル総合管理を行う企業と協働して、相談者の働く場をつくることになりました。清掃事業で就労を希望する方は、まず体験講座に参加してから働くかどうかを決めていきます。8月から順次現場もスタッフも増え、11月現在宝塚市内で13棟のべ8人のスタッフが活躍中です。

スタッフに応募された方は、社会にできることが不安だったり、空白がある方も多く、少しずつの就労復帰を希望。就労時間は月2時間から多くて月18時間、年齢制限もなく、20代から80代の方が自分らしく働ける場所になっています。また現場の1つを就労訓練として活用しており、慣れた頃に雇用につないでいきます。相談者が自分のペースで働くことをスタートするスモールステップが可能です。

10月末には集合研修を行い、スタッフ同士の顔合わせをしました。先輩から時間内に終える工夫について教えてもらうなど、和やかな交流ができました。今後も定期的にスタッフ同士の交流の場を設けていきたいと思っています。

今回、協働した企業からは、「直接雇用しても、すぐに辞めてしまう人も多く悩んでいました。宝塚NPOセンターが雇用することで、仕事を始めてからも定期面談などでフォローしてもらえるので離職率が減り安心だ」と話していただきました。一方、私たちは宝塚NPOセンターの清掃事業部を就労の足がかりに、相談者がその先の一般就労に向かっていければ良いと考えています。スタッフは、今後の目標として、就労時間や仕事量を増やしたいと全員が話しています。私たちはこれまでと同じように相談者に寄り添いステップアップしていけるように支援を続けます。



Say!so! のHPへはこちらから→



令和の自治会運営を考える

10月1日に、令和スタイルの自治会運営を考えるワークショップを開催しました。自治会の加入率が年々低下する中で、「参加しやすい自治会ってどんなカタチ？」について皆さんと考えました。参加者は大学生の若い方や親子連れの方など幅広く34人でした。冒頭で地域活動にも関わっていらっしゃる柏木登起さん(一社明石コミュニティ財団)から、会議に参加しやすくなるちょっとした工夫などの具体例を交えたお話をいただいた後に、グループ毎に、「今、自治会に関わりにくいのはなぜだろう?」「関わりたい自治会に向けてのアイデア、こんな工夫ができればいいな!」の2つの視点でワークショップを行いました。活発な意見交換により「若い人に任せていき自主的にやれる環境を整えること」や「いかに魅力的な自治会にイメージチェンジができるか」などの意見が出ました。アンケートでは約8割の方が、今回気付いたことを実行していきたいと答えていただき、これを令和の自治会運営のヒントにさせていただけるのではないかと期待しています。

地元で働きたい人と 地元企業をマッチング



地元で働きたい人と地元企業をつなぐ「合同就職説明会」を11月29日に開催。阪神エリアの企業8社に参加いただきました。各ブースでは、採用担当者が参加者に仕事内容や企業の思いを熱心に話されていました。参加者も真剣に話を聞きながら質問され、どこのブースも並ぶ列が途切れることなく熱気が満ちていました。就職後のミスマッチを防ぐために、説明会で気になった企業の見学を行うのが、この説明会の特徴です。若者の就労や人材不足の解消などの社会課題に対応し、地域で働くことで地域の活性化につなげたいと思います。

就労する前の一步

就労を始める前に生活習慣を整え、コミュニケーション力を付けるためのボランティア先として2023年度は3つの保育園とつながりました。そのうちの1つ、伊子志保育園には11月1日に5人の相談者とおじゃましました。伊子志保育園の畑作業の手伝いは3回目。前日までに園児が収穫しきれなかったサツマイモを収穫し、残った蔓や雑草取り、黒マルチシート張りを協力しながらやりました。作業後はなかなかの達成感を味わえました。最後に子どもたちがお礼の挨拶に来てくれ、恥ずかしながらもうれしかったようです。他にも、保育園での内職やボランティアでお手伝いに出かけることが増え、相談者のやる気スイッチを押してくれています。これからも地域の団体とも協力しながら彼らの活躍の場を広げていきます。



フードシェアリングの活動が浸透してきました

2年前から始まったフードシェアリング活動。2023年度も多くの困っている方に食品などを届けるために継続して活動を行っています。地縁団体や地元企業など、地域の皆さんに支えられ、毎回多くの食品や生活用品が私たちの元に届いています。2023年度は配布会を4回開催。10月に3回目の配布会が終わり、延べ75人の方にお渡しすることができました。2023年度最後の配布会は12月23日。食品提供の受け付けは12月1日~12月20日です。『もったいないをみんなで笑顔へ』を掲げて活動しています。皆様のご協力をお願いします。

